主催：公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会　後援：日本広報学会

PRプランナー資格認定制度
検定試験　受験要項 2025年版

いま、社会にはあらゆる情報やコンテンツがあふれ、
その流通チャネルも多岐に渡っています。

このような環境のもと、正しい情報を
多様な価値観をもったステークホルダーに適切に届け、
合意形成を図っていくことの重要性は日々高まりつつあります。

我々、PRプランナーは、幅広いスキルと高いコミュニケーション力、
倫理観をもって、さまざまな課題をパブリックリレーションズで解決するための
知見を有し、この“強み”をより良い社会を築くために役立てていきます。

社会をつなげる、未来を動かす。
私たちはPRプランナーです。

2018年3月1日に開催されたPRプランナー資格制度10周年記念特別シンポジウム「社会をつなげる、未来を動かす ～ A Future Vision of Public Relations」にて、2,300人（当時）を超えるPRプランナー有資格者の代表者から、これからの時代への矜持と志を語る「PRプランナー宣言」を行い、「広報・PRの未来像と、これからの時代の要請に応えるPRプランナー像」を提言いたしました。

パブリックリレーションズとは

組織がそれを取り巻く個人や社会との間で
信頼関係をつくり出すための考え方や
コミュニケーション活動をさします

20世紀初頭からアメリカで発展し、日本には1940年代後半に導入されました。その後「PR」とういう略語は「広告宣伝」と同様の意味で使われるようになり、本来の意味から離れてしまいました。広報という言葉もよく使われますが、ともすると組織の一方的な情報発信と受け取られがちです。パブリックリレーションズが持っていた、『よい関係づくり』という本来の意味を忘れてはなりません。ちなみに『体系パブリック・リレーションズ』（カトリップ他著）では、「パブリック・リレーションズとは、組織体とその存続を左右するパブリックとの間に、相互に利益をもたらす関係性を構築し、維持するマネジメント機能である」と定義されています。

ＰＲプランナー資格認定制度　検定試験とは

企業とステークホルダーの双方向コミュニケーションによる信頼関係の構築が社会的な要請となり、従来のメディアリレーションズやインターナル・コミュニケーションの範疇を超えて、経営上のコミュニケーション戦略、コンプライアンス、ＩＲ、危機管理、マーケティング・コミュニケーション、ブランド・マネジメントなど、企業経営の根幹に精通した広報・ＰＲの専門家（ＰＲプロフェッショナル）が求められるようになりつつあります。

そこで、実際に広報・ＰＲの仕事に就いている人、あるいは志望している人に、広報・ＰＲの本質的な概念を理解してほしい、さらには専門性の高い広報・ＰＲ業務の社会的認知を高めたい、という使命感から、このＰＲプランナー試験制度は導入されました。

ＰＲプランナー資格認定制度は、2007年に日本パブリックリレーションズ協会が設立した日本で唯一の広報・ＰＲ資格認定制度であり、総合的な基本知識を問う1次試験、専門領域別に知識を問う2次試験、実務的な企画力を問う3次試験の3段階で構成されています。さらに、試験を通して体系的に“パブリックリレーションズ”を履修できる内容となっており、レベルに応じ「ＰＲプランナー補」「准ＰＲプランナー」「ＰＲプランナー」の資格を認定しています。

一人でも多くの優れた「ＰＲプランナー」が誕生することにより、わが国の広報・ＰＲ業務従事者の職能意識が高まり、広報・ＰＲ活動による社会の新しい発展力が生まれるものと確信しております。

広報・ＰＲの必要性〈企業が求めるＰＲプランナー〉

ＰＲは、会社を変革し、社会を良くするために、社員全員が取り組むこと

三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ
経営企画部　ブランド戦略グループ　部長
チーフ・コーポレートブランディング・オフィサー　飾森 亜樹子

これまでＰＲの仕事に携わり、経営マター、事業戦略、国内外の様々な事象、ＩＲやプロモーションとの連携、社外と社内広報の連動、といろいろな観点で広報活動を実践する中で、「ＰＲを通じて会社の変革に貢献する」ということを心にとめてやってきました。企業において、広範囲・全方位のステークホルダーを意識してコミュニケーション活動をデザインするということは、経営戦略そのもの。幅広い知識と高い視座、優れたバランス感覚とコミュニケーション能力が問われる仕事です。そして現場の社員から経営層に至る全社に気づきを与え、積極的な取り組みと会社の変革を促すのがＰＲパーソンの重要な役割です。

ＰＲプランナーとして学び、仲間と切磋琢磨する中で、会社や立場は違っても、日々重要な役割を担っているという様々な刺激を受け、仕事に対する誇りを感じてきました。更に昨今のＳＤＧｓ、ＥＳＧ投資など、サステナビリティ経営の考え方は、今後グローバルなＰＲの世界で更に重みを増し、社会課題を解決する“社会課題起点のストーリー”が鍵となると思います。社会の課題を解決すること、社会を良くすることは、一企業だけで実現できることはなく、より多くの企業や団体のつながりと協働・共創から生まれることです。我々ＰＲパーソン全員で、会社を、そして社会を良くするコミュニケーションを行っていきたいと思います。

PROFILE

ＮＥＣにて、海外広報からキャリアをスタート。経営戦略、Ｂ２Ｂ／Ｂ２Ｃ事業分野におけるコーポレートコミュニケーションを実践。2015年よりコーポレートコミュニケーション本部長として、広報室（メディア対応）、エンゲージメント推進室（インターナルコミュニケーション、カルチャー変革、社会貢献活動、サステナビリティ推進室、カスタマーコミュニケーションセンター、コーポレートアーカイブ室を統括。2021年2月より現職。金融グループにおける社内外ブランド戦略とカルチャー変革に取り組んでいる。
2018年 経済広報センター 企業広報功労賞受賞。
日本パブリックリレーションズ協会元理事、同協会資格委員会副委員長、
PRSJ 認定ＰＲプランナー。

PRSJ認定 PRプランナー | 2025年 3月取得

育休明けの挑戦
資格取得で得た自信とスキル

いすゞ自動車株式会社
広報部広報グループ　工藤（くどう）　緋沙子（ひさこ） さん

2023年春に育休から職場復帰した際、広報部長から「PRプランナー資格試験受けてみない？」と声をかけられたことが受験のきっかけです。以前この資格について調べた際、実務経験不足で受験できないことを知り、それ以降受験する機会を逸していました。これまで自己流で広報の仕事をしてきたため、PR・広報を基礎から学び直す機会として挑戦しました。その結果、散らばっていたノウハウが体系的に身に付きました。

1次試験対策はひたすら公式テキストを読むことに注力しました。試験2ヵ月前から隙間時間にテキストを開き、マーカーを引きながら繰り返し読み込みました。帰宅後は家事・育児で勉強の時間が取れなかったので、子どもを寝かしつけながら、ベッドの中でスキャナーで取り込んだ公式テキストをiPadで読むようにしました。この学習法で2024年2月の1次試験に合格。その3ヵ月後に行われた2次試験では、苦手分野を重点的に学習したほか、時事問題については普段からニュースは意識しているものの、改めて試験範囲のニュースをアプリなどで見直し、突破できました。

同年8月に受けた3次試験は、課題A（ニュースリリース作成）に時間をかけ過ぎたほか、CBTテストセンターのキーボード操作にも戸惑い、課題Bを最後まで解ききることができずに不合格になりました。その反省を踏まえ、次回の試験に向けて、2つの課題を書ききるために参考問題集の模範解答を時間を計りながらパソコンで一通り書き起こしてみました。これにより時間配分の感覚をつかみ、解答の“型（フレーム）”が把握できるようになりました。他の課題にも当てはめて対策した結果、本番の試験では全ての設問に記述でき、合格できました。ただ“合格したら終わり”ではなく、今回選択しなかったコーポレート課題も解いてプランニング力の強化を図り、肩書きだけの有資格者とならないようにしたいと思います。

今回の資格取得を通じて習得した、企画立案時にフレームを意識するという発想は、今後も仕事で役立つのではと思っています。以前は難しい課題に直面した際、残業するなど時間をかけて対応していましたが、子育てをしながら働いている今はそういうわけにもいきません。そんな時でもフレームという考え方を応用すれば生産性の高い働き方ができるのではと思っています。

PRプランナー資格試験には、実務に即した問題が出されるので、広報の現場で3年以上の経験を持つ社会人なら、学習法次第で十分合格できると思います。職場環境や上司の理解によるところも大きいと思いますが、子育て中の方も含めて、多くの方にチャレンジしてほしい資格試験です。

PROFILE

大学時代に所属した自動車部の活動の中でトラックを運転した経験から商用車業界に興味を持ち、2013年いすゞ自動車に新卒入社。
国内営業部からキャリアをスタートし、4年目に広報部へ異動。
2022年に産休・育休を経て、現在は商品広報を中心に業務を行っている。

一言メッセージ

所属部署の上司　経営業務部門VP兼広報部長 相川貴之さん

今、世の中の動きに合わせて当社の人事制度もジョブ型へシフトしており、今後は「あなたの武器は何ですか？」と社員一人一人が問われるようになると思います。そうした中で、広報部のスタッフであれば、この分野のプロの証となるPRプランナー資格を取得することは強みになるのではないでしょうか。当社ではそうしたプロ人材育成に力を入れており、本資格に関しても受験料の補助を行うなど、取得を奨励しています。

PR プランナー取得者向けイベント

PRプランナー Meet up

「PRプランナー Meet up」は、同じスキルや関心を持つプロフェッショナル同士が集まり、第一線で活躍するベテランPRプランナーの方々も多数参加する貴重な機会です。業界の最新トレンドや実践的なノウハウを共有しながら、明日からの業務にすぐに活かせる多くの学びを得られる、立食形式のカジュアルな交流会となっています。新たなつながりやインスピレーションを得る場となっております。

参加対象：「PRSJ 認定PRプランナー」資格を保有している方
開催時間：平日夜間
開催場所：都内

参加者同士で、「PRプランナー資格を活かした転職や異動の成功事例」や「副業・兼業での活用法」など、実体験に基づく意見交換が行われ、具体的で参考になる情報が得られます。

PRSJ認定 PRプランナー | 2025年 3月取得

試験勉強を通じて新たな気づきを得られ、自らのスキルアップにも大いに役立った

ケンコーマヨネーズ株式会社
経営企画室 広報部 広報課　神山（かみやま） 柚香（ゆか） さん

ケンコーマヨネーズに入社するまで広報業務の経験はなく、最初は先輩に教わりながら独学で仕事を進めていました。そうした中で、改めて広報の基礎を体系的に学びたいと思うようになり、ネットで見つけたPRプランナー資格の取得に挑戦することにしました。

試験対策としては、公式テキストを通勤電車の中や帰宅後に読み込むことが中心でした。半年ほど準備期間を設け、テキストを何周か繰り返し読んだ後に参考問題集を購入して問題演習に励んだ結果、2019年3月に1次試験に合格しました。その後、コロナ禍の中で別部署へ異動となりましたが、2022年に広報課へ復帰し、2次試験の受験を決意。1次試験にはなかった時事問題対策としては日常のニュースチェックだけでなく、YouTubeの時事問題解説チャンネルを活用し、効率的に学習を進め、同年12月に2次試験にも合格しました。

3次試験を受けたのは、それから2年後のことです。1・2次試験とは異なり記述式であるためハードルが高く、先送りしていましたが、広報課に新入社員が加わり、自身の立場が変化する中で、もう一段階キャリアアップしたいという思いから、2025年1月に受験を決意しました。リリース原稿作成など自分の持つ広報スキルがどこまで通用するか試したいという気持ちもありました。
ただ、年末は繁忙期にあたり、集中して勉強できたのは年明けからでした。まずは合格者のブログをいくつか読み、適切な時間配分が攻略のカギであると知りました。そこで、今回選択したコーポレート課題の解答例を何度も読み込んでパターンを頭に入れ、休日に時間を決めて問題演習を行い、本番に備えました。試験当日は、リリース課題のテーマがこれまで経験したことのない内容だったうえ、試験会場のキーボードが普段と異なり、タイプミスを防ぐのに苦労しましたが、なんとか時間内に書き終え、無事合格することができました。

今回3次試験を受けて最も良かったのは、多くの新たな気づきを得られたことです。たとえば、普段のリリース作成において何を最も重視すべきかを改めて考えるようになり、リード文には必ず5W1Hを入れるなど、基本の大切さを再確認できました。現時点では広報計画の立案には関わっていませんが、今後そうした機会があれば、今回の学びを生かしていきたいと考えています。

この資格試験は、広報実務に必要な知識や視点を学べる良い機会です。若手の方にとっては成長のチャンスになると思いますので、ぜひ多くの方にチャレンジしていただきたいです。

PROFILE

2017年にキャリア採用でケンコーマヨネーズに入社。営業部門を経て広報課に異動。
その後、販促物などを制作する広告PRも経験しながら、現在はプレスリリースの作成・配信やメディア対応、メディア向けイベントの実行など、主に社外広報を担当している。

一言メッセージ

所属部署の上司　経営企画室 広報部 広報課長 浜岡優子さん

当社では、社員の資格取得を支援する制度が2つあります。一つは、惣菜管理士など業務に携わる中で専門性が高い資格向けに、受験料などを全額補助しています。もう一つは、社員のスキル向上につながると認められた資格に対しての資格取得賞で、褒章として反映することでその努力に応えています。現在、PRプランナー資格は後者に該当していますが、今回の神山の受験を通じて、業務上の必要性が非常に高い資格であると再認識しました。今後は、専門資格として認定されるよう、働きかけていきたいと考えています。

PRプランナー創発ワークショップ

PRプランナーの新規取得者を対象に、自身が目指す“PRプロフェッショナル像”を深く考え、ワールドカフェ形式で参加者同士が自由に意見を共有し合う創発型ワークショップです。第1部ではキャリア形成のヒントを得られる基調講演、第2部では対話を通じて理想のプロフェッショナル像を描くワークショップ、第3部ではつながりを広げる交流会と、3部構成で実施。PRプランナーとしての未来を描くきっかけとなる、学びと刺激にあふれたイベントです。

参加対象：新規「PRSJ 認定ＰＲプランナー」資格取得者（認定更新前の取得者）
開催時間：平日夜間
開催場所：都内

PRSJ認定 准PRプランナー | 2024年12月取得

就職活動で准PRプランナー資格取得をアピール PR会社複数社に内定

東京経済大学コミュニケーション学部

メディア社会学科４年　浅野（あさの）　莉子（りこ）さん

大学では2年次で、広報が専門のゼミと、大学の「PRプロフェッショナルプログラム」に所属しました。また広報・PRの授業を受ける中で、この領域の重要性を改めて実感し、PR会社への就職を希望するようになりました。

ただ、PR業界の新卒採用は“競争倍率が高い”と聞いていたので、就活時のアピール材料になるかもと、「PRプランナー」資格試験に挑戦することを決めました。そこで、2年次の2月に1次試験を受けましたが、大学の勉強等で忙しく、準備不足で不合格に…。次の3年次 8月がPRプランナー資格をエントリーシートに書けるタイムリミットになるので、試験当日までの数か月間は必死に勉強しました。具体的には、大学の講義やゼミでの授業内容をしっかりと頭に入れ、空き時間は図書館で公式テキストの要点を書き出す「まとめノート」を作成しました。言葉の意味だけでなく、流れや仕組みが理解できるようにまとめ、試験直前には何度も読み返すことで、1次試験に合格できました。この勢いに乗って、2次試験にも挑戦することを決意しました。

2次試験に向けては、1次同様にテキストの精読や問題演習を行うとともに、覚えづらい領域を重点的に勉強し、また、テキストにない時事問題については、試験範囲のニュースをワードにまとめることで、11月の試験に合格できました。

試験対策と同時並行で就職活動が始まりましたが、当時は自分に自信が持てず、一般企業にもエントリー先を広げようと思っていました。しかし、3年の夏に大学の授業として、広報の専門誌の編集部で数日間の実習をすることができ、広報の実務や取材などにも携わる中で、PR業界で働きたいという気持ちが一層高まりました。その後、2次試験に合格したことで、他大学の学生に負けない自分の強みができたと感じ、PR業界一本に絞って就職活動を進めることにしました。実際、面接時の自己紹介で2次試験に合格したことを話すと、“広報・PRへの理解がある”と面接官に思ってもらえたのか、知識を試すような質問攻めに遭ったりしました。そうした深掘り質問には受験勉強が活き、うまく答えられたことで面接官に評価されたようで、複数のPR会社から内定をいただくことができました。

大学卒業後はPR会社に入り、PRを通じて世の中をもっと良くしていけたらと思っています。また、PRの本来の意味を理解している企業はまだまだ多くないと思われますので、その役割や意義を発信し、多くの企業が真のPR活動に取り組むことを当たり前にしていきたいです。

PROFILE

中学・高校を通じて、学校にテレビ番組や撮影ロケを誘致する活動に関わっていたことで広報・PRに関心を持った。
東京経済大学に広報・PRの授業があり、専門的に学べることを知り入学。
「PRプロフェッショナルプログラム」と広報のゼミでさらに深く学び、1次・2次試験に合格し、複数のPR会社に内定。
自宅から大学が遠くて往復約５時間もかかったが、電車の中では資格の勉強時間に充てた。
出版社でファッション誌のweb上の記事を書くアルバイトも継続中。

一言メッセージ

所属ゼミの先生　東京経済大学 駒橋恵子教授

「PRプロフェッショナルプログラム」は大学の「アドバンストプログラム」の一つで、選抜された学生だけが所属します（各学年定員20名）。所属する学生は、専門的な授業（PR関連企業での実務演習等）を履修できるほか、PRプランナー試験の受験料・登録料は、複数回トライしても全額給付されます。PRプランナー試験対策講座も授業内に受けられます（大学が費用負担）。こうした支援制度があるので、東経大からは毎年コンスタントに合格者を輩出しています。

PRプランナー資格認定検定試験 受験者プロフィール

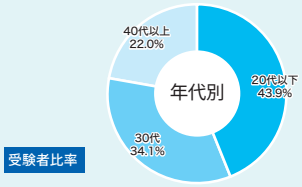
1次試験

（第１回～第37回累計）

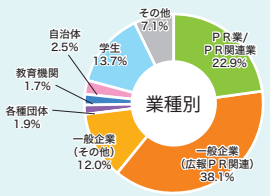
合格率 **73.7%**

受験者 17,327名
合格者 12,768名

男性:41.8%　女性:58.2%



受験者比率



2次試験

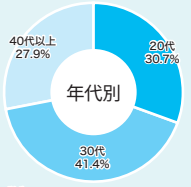
（第１回～第36回累計）

合格率 **76.2%**

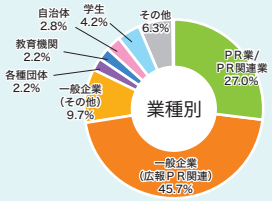
受験者 8,714名
合格者 6,638名

※４科目一括の受験者数・合格者数

男性:45.4%　女性:54.6%



受験者比率



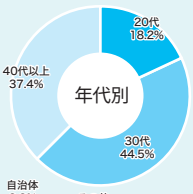
3次試験

（第１回～第36回累計）

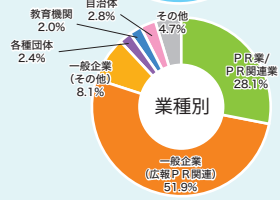
合格率 **48.1%**

受験者 7,774名
合格者 3,742名

男性:50.9%　女性:61.2%



受験者比率



PRプランナー資格の種類

3つのステップでPRプランナーに

お申込み

01 仮申込み

「PRプランナー資格Webサイト」の仮申込フォームで【受験種別】を選択し、本申込みに必要な【受験コード】を取得

02 ユーザー登録

「CBTソリューションズ」で【マイページ】を作成

03 本申込み

「CBTソリューションズ」のマイページから【受験日時・会場】の選択と、【受験料】の支払い

試験当日

試験期間内の予約した日時・会場で受験

Step 1 1次試験

CTB方式による択一問題

前期 2月 ／ 後期 8月

〈 試験期間:16日間 〉

合格発表

認定申請

PRプランナー補 資格認定

PRプランナー補

PRプランナー補資格取得者

3,627名

認定条件

1次試験合格、かつ
PRプランナー補審査合格者

広報・PR実務に従事するために必要最小限の基礎知識を有することを認定する資格で、下記の1次試験に合格し、さらに「PRプランナー補」認定申請を経て取得できます。

Step 2 2次試験

CTB方式による択一問題

前期 5月 ／後期 11月

〈 試験期間:9日間 〉

合格発表

認定申請

准PRプランナー 資格認定

准PRプランナー

准PRプランナー資格取得者

1,605名

認定条件

1～2次試験合格、かつ
准PRプランナー審査合格者

広報・PR実務に必要な専門知識を有することを認定する資格で、下記の1次試験、2次試験に合格し、さらに「准PRプランナー」認定申請を経て取得できます。
（認定にあたって「PRプランナー補」の資格を有している必要はありません）

Step 3 3次試験

CTB方式によるテキスト記述問題

前期 7月 ／ 後期 1月

〈 試験期間:2日間 〉

合格発表

認定申請

PRプランナー 資格認定

PRプランナー

PRプランナー資格取得者

3,634名

認定条件

1～3次試験合格、かつ
PRプランナー審査合格者

日常的な広報・PR実務を幅広くこなし、かつ広報・PR責任者をサポートする知識・提案能力を有することを認定する資格で、下記の1次試験、2次試験、3次試験に合格し、さらに「PRプランナー」認定申請を経て取得できます。
（認定にあたって「PRプランナー補」「准PRプランナー」の資格を有している必要はありません）

取得者数はいずれも2025年5月1日現在

合格後の認定申請の流れ

1.申請受付
PRプランナー資格Web サイトの「認定申請フォーム」に、必要事項をご入力の上、送信していただきます。認定申請を完了されますと、ご入力いただいたメールアドレスに確認メールが送信されます。

2.認定結果通知
認定申請でご入力いただいたメールアドレス宛に、認定結果通知をお送りします。

3.登録料入金
認定登録料をご入金いただきます。

4.認定証発送
認定登録料のご入金確認後、約2週間以内に認定証を発送いたします。

検定試験について

	1次試験	2次試験	3次試験
受験資格	とくになし	1次試験合格者	2次試験4科目合格者、かつ3年以上の広報・PR関連実務経験者
受験方法	CBT方式 （択一問題）	CBT方式 （択一問題）	CBT方式 （テキスト記述問題）
試験内容	広報・PRに関する基本的な知識 広報・PRの基本、メディアリレーションズ、マーケティングの基礎理論、CSR（企業の社会的責任）、インターナル・コミュニケーション、IR（インベスターリレーションズ）、危機管理広報、行政・団体等の広報・PR　等	広報・PRの実務に関する専門知識 ・科目A：企業経営と広報・PRに関する知識 ・科目B：マーケティングと広報・PRに関する知識 ・科目C：コミュニケーションと広報・PRに関する実務知識 ・科目D：時事問題	広報・PRの実務に関する知識 ・課題A：ニュースリリースの作成 ・課題B：広報・PR計画の立案作成 ※課題Bは、「コーポレート課題」もしくは「マーケティング課題」からの選択となります。
試験時間	80分	科目A+B：80分 科目C+D：80分	120分
出題数	50問	各科目25問	各課題1問　計2問
合格基準	正答率70％以上	正答率65％以上 全出題数に対して正答率65％以上、かつ各科目の正答率がいずれも50％以上で合格とします。（全出題数に対して正答率65％未満の場合、もしくは1科目でも正答率50％未満の場合は不合格となります。）	正答率60％以上 評価の配点を、課題A（ニュースリリースの作成）25点満点、課題B（広報・PR計画の立案作成）50点満点とし、課題A・Bの総合評価が45点以上（60％以上）、かつ各課題の評価がいずれも50％以上で合格とします。

検定試験実施スケジュール

	1次試験	2次試験	3次試験
2025年度後期（第38回）	試験期間：2025年8月9日（土）～24日（日） （仮申込：6月1日（日）～7月25日（金）まで）	試験期間：2025年11月8日（土）～16日（日） （仮申込：9月1日（月）～10月24日（金）まで）	試験期間：2026年1月24日（土）・25日（日） （仮申込：11月25日（火）～1月9日（金）まで）
2025年度前期（第39回）	試験期間：2026年2月7日（土）～22日（日） （仮申込：12月1日（月）～1月23日（金）まで）	試験期間：2026年5月9日（土）～17日（日） （仮申込：3月2日（月）～4月24日（金）まで）	試験期間：2026年7月25日（土）・26日（日） （仮申込：5月25日（火）～7月10日（金）まで）

試験項目概要

1次試験　広報・PRに関する基本的な知識

出題数：50問　試験時間：80分

- 広報・PRの基本
- 企業経営と広報・PR
- 広報・PR活動のマネジメント
- コミュニケーションの基礎理論
- メディアリレーションズ
- マーケティングの基礎理論
- マーケティングと広報・PR
- ブランドの基礎理論
- CSR（企業の社会的責任）
- インターナル・コミュニケーション
- IR（インベスターリレーションズ）
- グローバル広報
- 危機管理広報
- 行政・団体等の広報・PR

2次試験　広報・PRの実務に関する専門知識

科目A〈企業経営と広報・PRに関する知識〉

- 経営環境の変化と広報・PR
- CSR（企業の社会的責任）と広報・PR
- インターナル・コミュニケーション戦略
- IR活動の実務
- グローバル広報の実務
- 危機管理広報の実務

科目B〈マーケティングと広報・PRに関する知識〉

- マーケティング・マネジメント
- マーケティング・コミュニケーションの実務
- マーケティングと広報・PRの動向

検定試験料金

	1次試験	2次試験	3次試験
一　般 ※消費税込	11,000円	17,600円	17,600円
学　生 ※消費税込	6,600円	11,000円	—
PRSJ 会員社員 ※消費税込	8,800円	13,200円	13,200円

＊種別「PRSJ会員社員」は、協会の「個人会員」「准会員」としてご登録されていますご本人様、または「正会員」および「法人賛助会員」としてご登録されています会社・団体（グループ企業、系列会社・団体を除く）の社員の方が対象となります。
＊種別「学生」は、国、地方公共団体および学校法人が設置した学校（教育基本法第6条1、学校教育基本法第2条1、私立学校法第3条）で教育を受けている学生（社会人大学生を除く）の方が対象となります。
＊受験料は2023年4月1日現在のものです。今後、変更になる場合もございますので、ご了承ください。　＊消費税率が変更になった場合は、受験料も変更になります。

認定申請の期限について

各試験合格者の認定申請有効期限は、**試験合格後3年まで**となります。
各試験合格後3年を経過し、各認定資格を取得するには、各試験を再度受験し、合格することが必要になります。
なお、試験合格後3年以降でも上位の試験に進むことができます。

	3年以内	3年以降
1次試験 合格後	●2次試験 受験可 ● PRプランナー補の認定申請可	●2次試験 受験可 ● PRプランナー補の認定申請不可 合格後3年を経過し、PRプランナー補を申請するには、1次試験を再受験し、合格することが必要となります。
2次試験 合格後	●3次試験 受験可 ●准PRプランナーの認定申請可	●3次試験 受験可 ●准PRプランナーの認定申請不可 合格後3年を経過し、准PRプランナーを申請するには、2次試験を再受験し、合格することが必要となります。
3次試験 合格後	● PRプランナーの認定申請可	● PRプランナーの認定申請不可 合格後3年を経過し、PRプランナーを申請するには、3次試験を再受験し、合格することが必要となります。

認定登録料、および認定更新料について

	PRプランナー補	准PRプランナー	PRプランナー
一　般	5,500円	8,800円	11,000円
学　生	4,400円	6,600円	—
PRSJ 会員社員	4,400円	6,600円	8,800円

※消費税率が変更になった場合は、認定登録料／認定更新料も変更になります。　※消費税込

認定資格の有効期限について

認定資格の有効期限は、**取得後3年間**となります。
3年経過後は、下記の更新手続きを経て、資格の更新が可能です。

- いずれも、認定申請でご登録いただいたメールアドレスへ、更新のご案内メールをお送りします。
- Webサイトより更新の申請ができます。
- 更新された方には、認定証をお送りします。

認定更新された方は、認定カードを購入できます

PRプランナー補

准PRプランナー

PRプランナー

※認定登録番号、資格取得日、有効期限等記載

出 題 数：各科目25問
試験時間：科目A+B（80分）／ 科目C+D（80分）

科目C〈コミュニケーションと広報PRに関する実務知識〉

- マスメディアとソーシャルメディア
- メディアリレーションズの実務
- 自社メディアの種類と実務
- 広報・PR戦略立案の実務知識

科目D〈時事知識〉

- 政治・経済・国際・社会・文化・芸能・スポーツ

※時事問題の出題範囲は、5月実施の試験では試験実施前6カ月（10月～3月）、11月実施の試験では試験実施前6カ月（4月～9月）となります。

3次試験　広報・PRに関する実践技能

出題数：2問　試験時間：120分

- 課題A：ニュースリリースの作成
- 課題B：広報・PR計画の立案作成

「コーポレート課題」、もしくは「マーケティング課題」から、いずれか1つ選択。

※ニュースリリースと広報・PR計画の立案について、それぞれ商品や企業・団体等を取り巻く環境についての前提と課題が出題されます。

【参考問題】

※解答は本ページ下

1次試験

問題 危機管理体制の構築にあたって、自社に関するリスクの抽出と優先順位付けの工程があるが、優先順位を決める際に各々のリスクの大きさを算出するための次の計算式のうち、最も適切なものを選びなさい。

a. 発生頻度×社会的な関心度

b. 発生頻度×経営全般への影響度

c. 発生頻度×法的位置づけ

d. 発生頻度×売上高に与える影響

公式テキスト

各試験に対応した公式テキストです

広報・PR概説

1次試験対応テキスト

広報・PR業務を行うために必要とする基本知識を網羅した実用書。

A5サイズ ／ 345ページ
日本パブリックリレーションズ協会（編）
発行：同友館（2025年3月）
2,640円（税込）

広報・PR実践

2次・3次試験対応テキスト

広報・PR業務に関して、テーマ毎に解説した実務書。

A5サイズ ／ 384ページ
日本パブリックリレーションズ協会（編）
発行：同友館（2024年5月）
2,860円（税込）

広報・PR 資格試験 参考問題集

PRプランナー資格認定制度
1次・2次・3次試験参考問題集

実際に出題された試験問題や、出題が想定される1次から3次にわたる試験問題を収録した問題集。

A5サイズ ／ 194ページ
日本パブリックリレーションズ協会（編）
発行：同友館（2025年6月）
1,760円（税込）

1次試験対策講座

Web受講　通期開講（常時受付）

1次試験の出題分野となる公式テキスト「広報・PR概説」全14章を、自らPRプランナー資格を取得し受験体験のあるベテラン講師が平易に解説します。合格に求められる知識を、パソコンやスマホを利用し時と場所を選ばずフレキシブルに受講できるWeb講座です。

- 全14講座
  （各講座 約20〜60分）
  ※全14講座一括受講となります。

2次試験対策講座

Web受講　通期開講（常時受付）

公式テキスト「広報・PR実践」各章、時事問題への取り組み方の解説を通じて、専門的な知識を検定する2次試験合格に必要なポイントを履修します。合格に求められる知識を、パソコンやスマホを利用し時と場所を選ばずフレキシブルに受講できるWeb講座です。

- 全14講座
  （各講座 約20〜60分）
  ※1講座から受講可

3次試験対策講座

Web受講　通期開講（常時受付）

広報・PRの業務に不可欠な実務スキルを検定する3次試験。本講座は、「3次試験の概要と計画作成の基本」、「ニュースリリースの作成」、「広報・PR計画の立案作成（コーポレート課題）」、「広報・PR計画の立案作成（マーケティング課題）」の4講義+3演習と、「過去問の解答例と合格点をとるポイント（ニュースリリース課題・コーポレート課題・マーケティング課題）」で構成され、講義と演習を通じて、3次試験の合格に必要な知識やスキルを習得します。

- 全7講義+3演習
  （各講義20分〜120分／各演習30分〜110分）
- 総合コース（7講義+3演習）、
  コーポレート課題コース（5講義+2演習）、
  マーケティング課題コース（5講義+2演習）
  のいずれかを選択して受講

※上記スケジュールは、変更する場合がございます。
※受講の際は、協会Webサイトの講座ページをご参照ください。https://pr-shikaku.prsj.or.jp/reference/academy

参考問題解答　1次試験：b

ＰＲプランナー資格取得者が在籍する企業・団体（一部）

アイ・オー・データ機器
ACCESS
あさ出版
ADKホールディングス
アスキー・メディアワークス
アド近鉄
アド電通大阪
アリソン・アンド・パートナーズ
アルプスアルパイン
アルプス システム インテグレーション
EPSホールディングス
いすゞ自動車
井之上パブリックリレーションズ
出光興産
インテグレート
エイレックス
江崎グリコ
エスケーエレクトロニクス
ＳＣＳＫ
エドベック
ＮＥＣ
ＮＴＴ−ＭＥ
ＮＴＴアドバンステクノロジ
ＮＴＴコムウェア
ＮＴＴデータ
ＮＴＴデータ経営研究所
ＮＴＴドコモ
ＮＴＴ東日本
エバラ食品工業
エル・ビー・エス
遠州鉄道
Oakキャピタル
大阪ガス
大阪シティ信用金庫
オズマピーアール
小田急電鉄
オタフクソース
オムロン
オリエンタルランド
オリコム
オリンパス
オルビス
医療法人偕行会
花王
金沢工業大学
キヤノンマーケティングジャパン
九州電力
共同ピーアール
協和キリン
グラムスリー
京王電鉄
Ｋプロビジョン
ケンコーマヨネーズ
コア
コカ・コーラ ボトラーズジャパン
国立研究開発法人国立がん研究センター
コスモ・ピーアール
コミュニケーションデザイン
コムデックス
ゴルフパートナー
サイバーエージェント
さくらインターネット
サミー
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
産業編集センター
サン・クリエイティブ・パブリシティ
サンゲツ
サンスター
サントリーホールディングス
山日YBSグループ
カルチュア・コンビニエンス・クラブ
ＣＭＧジャパン
GMOメイクショップ
ジェイアール東日本企画
ＪＳＰ
ジェイ・ピーアール
資生堂
資生堂ジャパン
シダックス
シャープ
JAXA（宇宙航空研究開発機構）
ジヤトコ
ジャパネックス
JCOM
ジョンソン・エンド・ジョンソン
新東通信
スタッフサービス・ホールディングス
SPACECOOL
住友重機械工業
住友商事
住友電気工業
学校法人聖学院
社会福祉法人生活クラブ
積水化学工業
セガサミーホールディングス
セブン＆アイ・ホールディングス
セレスポ
ゼンリン
ソーシャルワイヤー
SBテクノロジー
ソフトバンクモバイル
大広
大日本印刷
大丸松坂屋百貨店
宝島社
宝酒造
ダスキン
タリーズコーヒージャパン
中部電力
中萬学院
つきプランニング
ＴＭオフィス
ＴＫＣ
ＴＤＫ
TBWA\博報堂
ディップ
デルフィス
デロイトトーマツ
電通
電通総研
電通プロモーションプラス
電通ＰＲコンサルティング
電通東日本
東京個別指導学院
ドウシシャ
東芝
東北新社
東北電力
トークス
トータル・コミュニケーションズ
ＴＯＴＯ
TOPPANホールディングス
トライベック
トレイントラックス
トレンダーズ
内外切抜通信社
中日本高速道路
西日本高速道路
西広
ニチイ学館
ニチレイ
ニッパツ
日本気象協会
日本テレビ放送網
日本ヒューレット・パッカード
ニホンモニター
日本郵政
野村證券
野村総合研究所
バイエルホールディング
パイオニア
博報堂
博報堂プロダクツ
パーソルテンプスタッフ
パナソニック
パナソニックITS
パナソニック ホームズ
阪急阪神ホテルズ
バンダイナムコフィルムワークス
ピーアールコンビナート
Ｐ＆Ｉ
医療法人社団美心会 黒沢病院
日立製作所
ビルコム
ファンケル
富士通
フジテレビジョン
プラップジャパン
プリンスホテル
プレイブ
Ｐ＆Ｇジャパン
ベネッセコーポレーション
ベルテクス・パートナーズ
ポーラ・オルビスホールディングス
幕張メッセ
マツダ
丸和繊維工業
マンダム
ミサワホーム
ミツカングループ本社
三菱総合研究所
三菱電機
三菱UFJフィナンシャル・グループ
ミネベアミツミ
明治大学
メディア・ソリューション
森ビル
モルテン
文部科学省
安川電機
ヤマハ
ユニアデックス
横河電機
読売広告社
理経
りそなホールディングス
良品計画
ワールドピーアール
YKK
YKK AP

※50音順
2025年3月31日現在

掲載している企業名・団体名は、ＰＲプランナー資格取得されたご本人に、掲載許可をいただいたものです。

出典：ＰＲプランナー資格Webサイト
「主なＰＲプランナー取得企業」

ＰＲプランナーの活躍するフィールドは多彩です

協会活動のご案内

実際の業務に役立つ知識、業務の幅を広げるネットワーク

学ぶ learn

■ 広報・PR実務講座

広報・PRの知識とスキルの習得を体系的に学ぶことを目的に、それぞれの経験レベル・目的に合わせたカリキュラムを、3つのコースで構成しています。

1. 入門（基礎）プログラム
   新任実務者、パブリックリレーションズについて基礎から学びたい方を主な対象とし、実務に必要な基本的な知識やスキルの習得を目的とするプログラム。
2. 中堅実務プログラム
   業務に一定の経験を有する中堅実務者を対象とし、専門性の高い講義や演習を通じて、パブリックリレーションズに関する実践的な知識やスキルを習得するプログラム。
3. 上級プログラム
   パブリックリレーションズの実務経験豊富なマネージャークラスの実務者を対象に、それぞれの立場に応じた知識やスキルを習得するプログラム。
4. PRアワードグランプリ／ＰＲアワード受賞事例公開セミナー
   PR業務の優秀事例を顕彰し、PRの質的向上を目指す「PRアワードグランプリ」を毎年実施しています。受賞したエントリーについては、協会のセミナー、出版物、ウェブなどを通じて紹介され、PRパーソンの育成のために役立てられます。

入会のメリット PRSJ 会員の方はお得な会員価格で受講できます。

■ 定例研究会

定期的に、先進的な試みをしているメディアやオピニオンリーダーなどのキーパーソンを招いて、タイムリーなテーマを取り上げてセミナーを行っています。

入会のメリット PRSJ 正会員・個人会員の方のみ受講できます。

資格をとる qualify

■ PRプランナー資格認定制度

「PRプランナー」「准PRプランナー」「PRプランナー補」の3つの資格があります。

総合的な基本知識を問う１次試験、専門領域別に知識を問う２次試験、実務的な企画力を問う３次試験の３段階で構成されています。試験を通して体系的に“パブリックリレーションズ”を履修できる内容となっています。

入会のメリット PRSJ 会員の方はお得な会員価格で受講できます。

交流する Interact

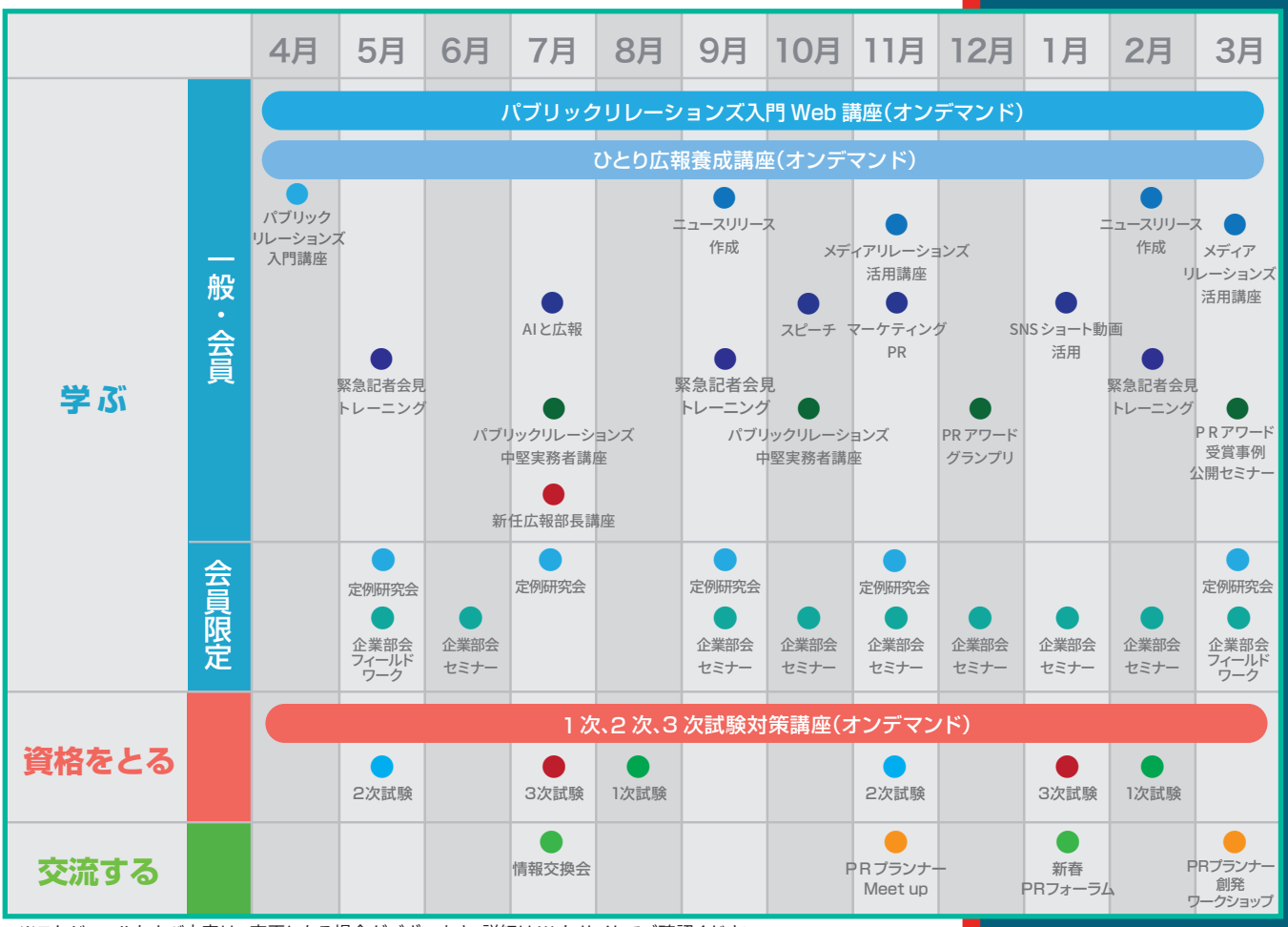
■ 交流行事を開催

会員の交流を図るため、新春PRフォーラム、情報交換会、企業部会総会、ＰＲ業部会総会などの交流行事を開催しています。また、委員会・部会での活動や業務に関わる問題を討議する会の開催などによって、PRの質的向上を目指しています。

入会のメリット 委員会活動は PRSJ 正会員、個人会員のみ、部会活動は PRSJ 正会員のみ携わることが可能です。

日本パブリックリレーションズ協会 Web サイト
https://prsj.or.jp/

年間スケジュール



※スケジュールおよび内容は、変更となる場合がございます。詳細はWebサイトでご確認ください。

主なセミナー・イベント紹介

パブリックリレーションズ入門Web講座

パブリックリレーションズの基本をはじめとして、業務に欠かせない最も基本的な知識、スキルをオンデマンド方式で通年開講。
年度途中での社内異動等の年間を通じた受講ニーズに応える講座。
（新任実務者もしくは広報・PR担当3年目程度までの実務者が対象）

オンデマンド　入門プログラム　一般
PRプランナー　正会員　個人・准会員

緊急記者会見トレーニング

企業等が危機発生時に実施する危機管理広報の基本的な考え方やポイントについて、講義とワークショップを通じて学ぶ講座。
危機管理広報の代表的な手法である緊急記者会見をシミュレーションするワークショップを通じて、その緊迫感、リアル感を体験し、緊急時における広報担当者としての心構えや対応を身に着ける。

対面（リアル）　中堅実務　一般
PRプランナー　正会員　個人・准会員

メディアリレーションズ活用講座

事業会社の広報担当者およびPRエージェンシーが、マスメディアの種類や特性、アプローチ法の基本について講義を通じて学び、さらにワークショップを通じてメディアの記者、編集者に対応するための基本的な実務を習得する。

対面（リアル）　中堅実務　一般
PRプランナー　正会員　個人・准会員

パブリックリレーションズ中堅実務者講座

広報・PRの現場における中心的な存在として、業務をリードする中堅実務者に求められる考え方や心構え、実務スキルのポイントを習得する。
業種業界を越えた、受講者間のネットワーク作りにも配慮し、受講者相互の交流を促すプログラムも用意。

対面（リアル）　中堅実務　一般
PRプランナー　正会員　個人・准会員

新任広報部長講座

広報部長や広報担当役員など、広報部門の上級管理職を対象として特化し、現職の広報部門上級管理職、報道関係者、弁護士などを講師として開講する。
就任後に直面する数々の課題や解決方法について共有できるよう、講師と受講者の交流機会もある。

対面（リアル）　上級プログラム　一般
PRプランナー　正会員　個人・准会員

PRアワード受賞事例公開セミナー

「PRアワードグランプリ」の受賞エントリー事例をとり上げ、PR関係者の実務に役立つようその概要、受賞のポイントや秘められていた工夫、苦心したことについて解説。
会場における対面セミナーとして、毎年開催。

対面（リアル）　PR事例研究　一般
PRプランナー　正会員　個人・准会員

パブリックリレーションズ（PR）の啓発・普及のために

日本パブリックリレーションズ協会では、
広報・パブリックリレーションズ（PR）の啓発・普及のために
多様なプログラムをご用意しております。

学ぶ

一般公開セミナー
会員限定セミナー

入門（基礎）プログラム
（主にパブリックリレーションズ業務の新任者）
- パブリックリレーションズ入門講座
- パブリックリレーションズ入門 Web 講座（オンデマンド）
- ひとり広報養成講座（オンデマンド）

PRの事例を学ぶ

関西地区セミナー

会員限定セミナー

書　籍

資格をとる

ＰＲプランナー
資格制度

試験対策講座（通年、オンデマンド）
- 1次試験対策講座
- 2次試験対策講座
- 3次試験対策講座

公式テキスト
- 広報・ＰＲ概説（1次試験対応）
- 広報・ＰＲ実践（2次・3次試験対応）
- 広報・ＰＲ過去問題集（1次～3次試験対応）

交流する

参加者同士の交流

ＰＲプランナー取得者限定

一般・会員

会員限定

中堅実務プログラム
（主に業務に一定の経験のあるパブリックリレーションズ中堅実務者）
- PRトレーニングプログラム
- ニュースリリース作成
- メディアリレーションズ
- 緊急記者会見
- SNSショート動画活用
- AIと広報
- スピーチ
- マーケティング PR

上級プログラム
（主に新任のパブリックリレーションズ上級管理者）
- 新任広報部長講座（セミナーと参加者同士の交流）

PRアワードグランプリ
- PRアワードグランプリ受賞式
- PRアワードグランプリ受賞事例公開セミナー

日本PR大賞
- パーソン・オブ・ザ・イヤー
- シチズン・オブ・ザ・イヤー

- 定例会（有識者、各界各層から旬の講師を招いて講演・研修会）
- 広報基礎講座・広報学校（広報・CSR 担当者向け基礎講座）

- 定例研究会（ジャーナリストや話題性の高い講師を招き、隔月で開催）
- They Talk Forum（ＰＲに関わるセミナー・研究会）
- 国際フォーラム（国際関係に関わるセミナー）
- 大使館訪問、海外研修／視察

企業部会 会員限定
- 企業部会セミナー（企業広報についてのセミナーと勉強会）
- 企業部会フィールドワーク（企業広報施設訪問による研究会）

ＰＲ業部会 会員限定
- PR スキル研究会（ＰＲスキルを向上させるためのセミナー）
- ワイガヤ会（若手ＰＲパーソン同士の事例研究と交流）

- 広報の仕掛人（優れた広報・PR 事例等を紹介）
- 広報・ＰＲマスコミハンドブック（ＰＲ手帳）
- 協会 NEWS（協会活動の情報紙）

資格試験
- 1次試験（広報・ＰＲに関する基礎知識）
- 2次試験（広報・ＰＲに関する専門知識）
- 3次試験（広報・ＰＲの実践スキル）

PRSJ 認定ＰＲプランナー資格
- ＰＲプランナー補（1次試験合格者）
- 准ＰＲプランナー（2次試験合格者）
- ＰＲプランナー　（3次試験合格者）

- ＰＲプランナー Meet up
- ＰＲプランナー 創発ワークショップ

- 新春PRフォーラム＆賀詞交歓会（パブリックリレーションズに関するテーマの講演と交流会）
- 「PRSJ新春関西フォーラム」特別講演
  （関西地区で開催するパブリックリレーションズに関するテーマの講演と交流会）

全会員対象
- 情報交換会（会員相互の交流を通じた懇親を深める会）

企業部会 会員限定
- 企業部会総会（業種業界を越えたＰＲの研鑽と交流）
- その他交流を兼ねた研修を会多数開催

ＰＲ業部会 会員限定
- ＰＲ業部会総会（ＰＲ・広告における研鑽と交流）
- その他交流を兼ねた研修を多数開催

Public Relations Society of Japan

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：PRSJ）は、わが国におけるＰＲの発展と高揚を目的として、業種・職種にとらわれず、広報・ＰＲに深い関心を持つ個人で構成されるユニークな団体です。各委員会・部会では、会員が幹事として活発な活動を展開しており、広報・ＰＲ業務に欠かせない研修や交流の場づくりに努めております。

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

PRSj PUBLIC RELATIONS SOCIETY OF JAPAN

〒106-0032
東京都港区六本木６丁目２番31号
六本木ヒルズノースタワー5F

TEL 03-5413-6760　FAX 03-5413-2147
https://pr-shikaku.prsj.or.jp（ＰＲプランナー資格制度）
https://prsj.or.jp（日本パブリックリレーションズ協会）

ＰＲプランナー資格制度

Facebook　X (Twitter)